

11月12日（火）、気持ち良い秋晴れの中、体育祭が実施されました。本校では、文化祭と体育祭が隔年で開催されます。一昨年からは縦割りでの体育祭を実施しています。小瀬高校体育祭の目的は、「運動に親しむ」ことに加えて、「普段かかわることの少ない学年と交流し、新しい絆を作り、深めること」「自分の考えを伝えたり相手の話を聞いたりするコミュニケーション力を育むこと」「立場の違う人々と相談して、物事を作ったり決めたりする協調性や調整力を育むこと」です。生徒会が全校生徒にアンケートをとって種目を決定し、夏休み明けすぐにチーム編成大抽選会を実施。後期スタートの10月1日にチームごとに初めて顔合わせをして、その後6回ほど、LHRや体育の授業を使って練習を重ねました。最初はぎこちなかったチームも、体を動かしながら交流し、練習の回数を重ねることで、だんだんと結束力が増していきました。

今年は「体育祭」としては初めて、午前中に球技を導入しました。5月に実施したクラスマッチが大変盛り上がり、生徒からも球技の実施を要望する声が多かったからです。バレーとサッカーを実施し、それぞれに大いに盛り上がりました。





午後は2人3脚～5人6脚リレー、借人借物競争リレー、玉入れ、綱引き、全員対抗リレー、と競技が続きます。









欠席した生徒のピンチヒッターとして教員も参加。学校公開週間だったので、保護者のみなさまも楽しそうに見学をされていました。生徒からは、「先輩たちと仲良くなることができた」「声を掛け合ったり作戦会議をしたり協力してできた」「すごくいい思い出になりました!」「普段話すことのない他学年の人たちと交流できてよかった」など感想がありました。







最後は生徒全員で集合写真



体育祭要項の表紙は、3年の小林千恵理さんの作品です。